



一般社団法人日本物流団体連合会
Japan Association for Logistics and Transport

〒100-0013
東京都千代田区霞が関3丁目3番3号
全日通霞が関ビル5階
TEL:03-3593-0139
FAX:03-3593-0138
URL:www.butsuryu.or.jp

News Release

令和3年6月7日

第22回物流環境大賞の受賞者を決定

-大賞は株式会社ベイシア他応募案件（7社連名）に決定-

一般社団法人日本物流団体連合会（渡邊健二会長）は、4月21日（水）に開催された選考委員会（委員長：流通経済大学（学校法人日通学園）野尻俊明理事長）の審議を経て、第22回物流環境大賞の受賞者を決定した。

今回は、近年の応募状況等を踏まえ、応募者にとってより取組み易いものとするべく、部門賞の名称変更や応募対象の拡大、および大賞以外の各賞の位置付けの明確化を図ることとし、3つの部門賞（低炭素物流推進賞・サステナブル活動賞・先進技術賞）を大賞の次点として位置付ける等、表彰規程を一部改正してから初の表彰となる。

「物流環境大賞」は、株式会社ベイシア、河村商事株式会社、株式会社日本アクセス、株式会社関東デイリー、南日本運輸倉庫株式会社、株式会社ケーツー、昌和商事株式会社の7社連名案件が受賞した。

また、各賞では低炭素物流推進賞（2件）、サステナブル活動賞（2件）、先進技術賞（2件）、日本物流記者会賞（1件）、特別賞（18件）を選定した。

各受賞者の概要は別紙の通りである。

なお、表彰式は6月29日（火）15時15分より、第一ホテル東京にて開催する。

※ 今年度は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあるので、会場内の密を避けるため、当日の表彰は大賞と低炭素物流推進賞、サステナブル活動賞、先進技術賞、日本物流記者会賞の受賞者のみとする予定。

以上
事務局：細野

第22回表彰受賞者の概要

物流環境大賞

被表彰者：株式会社ベイシア
河村商事株式会社
株式会社日本アクセス
株式会社関東デイリー
南日本運輸倉庫株式会社
株式会社ケーター
昌和商事株式会社

功績事項：特許技術による6輪カートでの効率的な往復運用

(株)ベイシア、河村商事(株)、(株)日本アクセス、(株)関東デイリー、南日本運輸倉庫(株)、(株)ケーター、昌和商事(株)は、1都14県で店舗ごとに行っていた空ダンボールの回収について、回収拠点を5か所に集約することにより、大幅なCO2排出量の削減を実現した。

また、輸送にあたっては6輪カート用の被覆材を使用することで、一度の回収量を大幅に増加させた。静脈物流の効率化で、廃棄物であったダンボールについて資源としての高付加価値化を実現し、環境負荷低減と物流効率化の範となる取組みを行っている。

低炭素物流推進賞（2件）

被表彰者：株式会社ランテック

功績事項：セミトレーラーを活用した海上モーダルシフトによるドライバー不足と環境負荷低減の取り組み

(株)ランテックは、宮崎県から関西地区へのブロイラーの輸送について、出荷曜日の固定化や定期数量の対応等で、13.5t冷凍車による陸送から15m冷凍セミトレーラーを活用した海上輸送へのモーダルシフトを実施し、CO2排出量の削減とドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：株式会社メディセオ
日本貨物鉄道株式会社
日本フレートライナー株式会社
日本石油輸送株式会社

功績事項：物流センター間（埼玉ALC～東北ALC）の在庫移送をトラック輸送から鉄道コンテナ輸送へのモーダルシフト。

(株)メディセオ、日本貨物鉄道(株)、日本フレートライナー(株)、日本石油輸送(株)は、埼玉県から岩手県への医薬品の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを実施し、CO2 排出量の削減とドライバーの負担軽減を実現した。

医薬品輸送で重要な温度管理について、新たに2～8℃で72時間管理できる保冷BOXを開発したほか、真空断熱を施したコンテナを使用し、輸送品質を安定させることで実現に至った。

サステナブル活動賞（2件）

被表彰者：株式会社ランテック

功績事項：(株)ランテックによる冷凍・冷蔵物流に於けるCO2 排出量の削減取り組み

- ①トラック&冷凍冷蔵装置の『ダブルハイブリッド』車導入推進
- ②物流センターの再生可能エネルギー自家消費
- ③自然冷媒を活用した冷凍冷蔵機器の導入

(株)ランテックは、冷凍冷蔵物流において、「ハイブリッド電動式冷凍機」の開発や省エネ型自然冷媒を使用した冷凍装置等の先進機器の導入など、環境対策を幅広く実施し、CO2 排出量の削減を実現した。

輸送に関しては、特許を取得している「ハイブリッド電動式冷凍機」を大型ハイブリッドトラックに搭載し、回生電力を車両走行の動力に活用することで、ダブルのハイブリッドを可能とした。

被表彰者：ユーピーアール株式会社
東レ株式会社

功績事項：アクティブRFIDタグ搭載スマートパレット®の活用による
物流の生産性向上

ユーピーアール(株)、東レ(株)は、合成樹脂製品の輸送について、アクティブRFIDタグ搭載スマートパレット®を導入したことで、空パレットの所在が自動で把握可能になり、効率的なパレット回収網を確立しCO2排出量の削減を実現した。

また、従来はパレット紛失のリスクから顧客先によってはバラ出荷もあったが、同パレットの活用で一貫パレット輸送が実現し、納品先にてパレット単位で作業が行われることにより、ドライバーによる手荷役を大幅に解消した。

先進技術賞（2件）

被表彰者：プロロジス

功績事項：IoT技術を活用した環境負荷低減の取組

プロロジスは、スマートバース、センサーLED照明システム、プロロジススマートボックスなど、最新のIoT技術を活用した物流施設を稼働し、環境負荷低減を実現した。

被表彰者：株式会社日立物流

功績事項：スマートウエアハウス（EC物流向けシェアリング自動倉庫）
運営による環境負荷低減

(株)日立物流は、複数のEC事業者の物流作業を1つのプラットフォームで運用するスマートウエアハウス（EC物流向けシェアリング自動倉庫）を開設し、複数荷主の出荷作業の統一化により、CO2排出量の削減及び自動化による物流効率化を実現した。現在では約30社と契約し、拠点集約によるCO2排出量の削減にも貢献している。

日本物流記者会賞

被表彰者：浪速運送株式会社

功績事項：ハンガー物流推進による、ファッション業界サプライチェーン全体の環境保全と経済効果実現の両立

浪速運送(株)は、ファッションカー第1号の誕生(1968年)を足掛かりとして、モーダルシフトを目的とした車両の製作など、複数種類のハンガーコンテナ車を開発し、ダンボールケースレス輸配送によるCO2排出量の削減を実現した。

また、53年に渡る歩みの中で、大手量販店(複数社)へのハンガー共同配送を実現し、大幅な納品車両台数の削減及び段ボールレスで店舗側の品出し作業の軽減を実現。百貨店物流においては、納品代行への移行・集約を進めることで、百貨店調達物流における全体的な運行車両台数を大幅に削減し、現在は百貨店業界の標準的な調達物流の仕組みとして定着している。

特別賞(18件)

被表彰者：SK-II / 滋賀工場(ピー・アンド・ジー株式会社)
濃飛倉庫運輸株式会社

功績事項：31f 鉄道コンテナへの「モーダルシフト」「往復共同利用」「混載化」の取組み(関西⇔関東)

SK-II / 滋賀工場(ピー・アンド・ジー(株))と濃飛倉庫運輸(株)は、滋賀工場にて製造する基礎化粧品「SK-II」の硝子容器の調達物流について、トラックから鉄道へのモーダルシフトを実施した。

ピー・アンド・ジーは調達納期調整を行い、濃飛倉庫運輸は、他荷主の滋賀県から千葉県への鉄道コンテナ輸送が復路空送となっていた部分を活用。関東地区に中継・集積拠点を設置する事で複数の調達先貨物を同コンテナに混載し、積載率を安定化。荷主と物流事業者の相互協力により実現した。

被表彰者：日本パレットレンタル株式会社
サッポロビール株式会社
サッポログループ物流株式会社
エバラ食品工業株式会社
株式会社エバラ物流

功績事項：モーダルシフトが物理的、コスト的に不可能な地方同士の幹線輸送の強靱化と長距離幹線輸送における女性ドライバーの活躍

日本パレットレンタル(株)、サッポロビール(株)、サッポログループ物流(株)、エバラ食品工業(株)、(株)エバラ物流は、岡山県から九州(大分県・福岡県)への酒類・食品の輸送について、異業種間で共同ラウンド運行を実施し、CO2排出量の削減及びドライバーの負担軽減を実現した。

輸送に関しては、全てパレット化による完全機械荷役としており、作業者の負担軽減を実現した。

被表彰者：日本通運株式会社

功績事項：日通オリジナル器材：プロテクトBOXの開発とマルチモードユニットサービスの推進について

日本通運(株)は、外的要因から貨物の汚破損を防ぐ「NEX-NEXT プロテクトBOX」を新たに開発した。これは耐久性が高く繰り返し使用できるため、梱包時の廃棄物削減によりCO2排出量の削減を実現した。

また、本器材は陸海空すべての輸送モードで使用可能で、二段積載による積載効率向上を実現している。

被表彰者：アサヒ飲料株式会社

日清食品株式会社

日本通運株式会社

功績事項：関東～九州間における共同輸送

アサヒ飲料(株)、日清食品(株)、日本通運(株)は、茨城県から九州(福岡県・佐賀県)への海上輸送について、アサヒ飲料社の上部空きスペースに軽量物である日清食品社の製品を混載することで、積載効率の向上とCO2排出量の削減を実現した。

被表彰者：JFEスチール株式会社

日本通運株式会社

功績事項：広島県～千葉県への鋼材輸送のモーダルシフト

JFEスチール(株)、日本通運(株)は、広島県から千葉県への鉄鋼製品輸送について、既存トレーラーの改造や新規の輸送用架台の作成等に取り組み、トレーラー輸送から海上輸送へのモーダルシフトを行い、CO2排出量の削減とドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：株式会社クラブ

日本通運株式会社

功績事項：福山港を利用した海上輸送

(株)クラブ、日本通運(株)は、広島県からベトナムへの輸出品輸送について、輸出港を名古屋港から福山港に変更することで、地方港の活性化及びCO2排出量の削減、ドライバー負担軽減を実現した。

被表彰者：山九株式会社
三井化学株式会社
旭化成株式会社

功績事項：千葉⇄山口・広島間の海上モーダルシフトおよびコンテナ・ラウンドユース～東・西日本の化学メーカーによる定期コンテナ船の共同利用～

山九(株)、三井化学(株)、旭化成(株)は、千葉県と山口県・広島県間の樹脂の輸送について、トラック輸送から海上輸送への往復モーダルシフトを行い、CO2排出量の削減とドライバーの負担軽減を実現した。

輸送に関しては、20ft サイドエンドオープンコンテナの利用により、貨物のハンドリング回数低減、輸送品質の向上を可能とした。

被表彰者：オリオン機械株式会社
センコー株式会社

功績事項：酪農機器の長距離輸送における海上輸送モーダルシフトの取り組み

オリオン機械(株)、センコー(株)は、北海道から西日本エリアへの配送に対し、兵庫県・福岡県にストックポイントを設置。陸送による直送運行から大型幹線による海上輸送へ切り替え、CO2排出量の削減並びにドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：日本梱包運輸倉庫株式会社
YKK AP株式会社

功績事項：宮城～富山 21mフルトレーラーによる乗り継ぎ運行における、CO2排出量の削減と乗務員の負荷低減対応

日本梱包運輸倉庫(株)、YKK AP(株)は、宮城県～富山県間の建材商品の輸送について、21mフルトレーラーの乗務員乗継運行による往復輸送を実施し、CO2排出量の削減とドライバーの負担軽減を実現した。

なお、本取り組みは、すでに両社が開始している富山県～熊本県間での乗継運行の第2弾であり、今回、宮城県～富山県間の乗継運行が実現した事により、宮城県～熊本県間が1本でつながり、さらなる物流効率化が可能になった。

被表彰者：NEXT Logistics Japan 株式会社
アサヒグループホールディングス株式会社
江崎グリコ株式会社
千代田運輸株式会社
トランコム株式会社
株式会社ニチレイロジグループ本社
日本梱包運輸倉庫株式会社
日野自動車株式会社
三菱HCキャピタル株式会社
株式会社ユーネットランス

功績事項：新たな幹線輸送スキームによる省人化、環境負荷低減、働き方改革の実現

NEXT Logistics Japan(株)、アサヒグループホールディングス(株)、江崎グリコ(株)、千代田運輸(株)、トランコム(株)、(株)ニチレイロジグループ本社、日本梱包運輸倉庫(株)、日野自動車(株)、三菱HCキャピタル(株)、(株)ユーネットランスは、「ドライバー不足によりモノが運べなくなる」という社会課題の解決に向け、より少ない人と車両で多くの荷を運ぶための高効率幹線輸送スキームを構築、CO₂排出量の削減及びドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：ネスレ日本株式会社
鈴与株式会社
鈴与カーゴネット株式会社

功績事項：フェリー輸送採用のモーダルシフト

ネスレ日本(株)、鈴与(株)、鈴与カーゴネット(株)は、九州から関東への「ネスレヘルスサイエンス」製品の輸送について、トラック輸送からフェリー利用による海上輸送へのモーダルシフトを実施し、CO₂排出量の削減とドライバーの負担軽減を実現した

被表彰者：アイシン北海道株式会社
鈴与株式会社
鈴与カーゴネット株式会社

功績事項：東北向け物流網の構築

アイシン北海道(株)、鈴与(株)、鈴与カーゴネット(株)は、北海道から宮城県への自動車部品の輸送について、車両積載方法や生産量の調整等を行い、1200パレット(1200mm×1000mm)に合わせて14mシャーシを活用した海上輸送を実施し、CO2排出量の削減とドライバーの負担軽減を実現した。

被表彰者：株式会社ニチレイ・ロジスティクス東海

功績事項：低温物流施設におけるトラック予約システム活用による車両待機時間削減および環境負荷低減への取り組み

(株)ニチレイ・ロジスティクス東海は、トラック予約システムを導入することで、入庫時間の事前予約が可能となり、トラック待機時間の削減によるCO2排出量の削減を実現した。

被表彰者：株式会社住友倉庫

功績事項：照明器具LED化、空調機器更新及び太陽光発電設備設置によるCO2排出量の削減並びにグリーンボンド発行による環境意識の高揚

(株)住友倉庫は、倉庫会社では国内初となるグリーンボンドで調達した資金で保有施設の環境負荷低減に向けた設備投資を行っている。国内倉庫約60棟の照明器具のLED化、空調の省エネ機器への更新、海外子会社における太陽光発電設備の設置により、電力使用量の削減を通じCO2排出量の削減を実現した。

被表彰者：日鉄物産株式会社
株式会社住友倉庫

功績事項：揚地港変更によるCO2 排出量の削減の取り組み

日鉄物産（株）、（株）住友倉庫は、中国からのアパレル製品の輸入について、輸入コンテナの揚地港を大阪港から納入先近隣の地方港（広島県）に変更することで、長距離のトラックによるコンテナ輸送を短縮し、CO2 排出量削減及びドライバー不足への一助となる輸送効率化を実現した。

被表彰者：株式会社ロジスティクス・ネットワーク

功績事項：3PL がコーディネートした 31 フィート冷凍コンテナの活用

（株）ロジスティクス・ネットワークは、北海道から福岡県への冷凍食品の輸送について、トラック輸送から鉄道輸送へのモーダルシフトを実施し、CO2 排出量の削減及びドライバーの負担軽減を実現した。

従来は、福岡県から北海道への片道の鉄道輸送のみとなっていたが、北海道内での空パレット搬送および福岡県への鉄道輸送を組み合わせることで「7日間でのフルラウンド輸送」を可能とした。

被表彰者：F-LINE 株式会社 業務本部 東日本ブロック
南関東支店 マルチモーダルサービスセンター

功績事項：“地球にやさしい物流の構築” 持続可能な社会を目指して

F-LINE（株）業務本部 東日本ブロック 南関東支店 マルチモーダルサービスセンターは、BCP 型物流ネットワークの構築やトレーラーによる中継リレー便（リレーライナー）の実施、長距離輸送のモーダルシフト（レールライナー）など様々な取り組みにより、CO2 排出量の削減と輸送の安定化を実現した。

被表彰者：株式会社ニチレイ・ロジスティクス東海

功績事項：物流施設における共同配送によるCO2 排出量の削減とトラック予約システム活用によるドライバー待機時間の削減

(株)ニチレイ・ロジスティクス東海は、愛知県内 2 箇所の物流センターで実施していた加工冷凍食品の共同配送について、新たに集約拠点を設置し、車両台数を適正化することで、CO2 排出量の削減及び物流効率化を実現した。

また、同センターではトラック予約システムを導入しており、トラック待機時間の削減による CO2 排出量の削減も実現した。

以上